

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後ルームBAMBOOHAT折之口		2025 年 2 月14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・指定基準以上のスペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		・定められた基準通りに運営を行っている ・外出時やイベント時には安全確保の為、基準以上に配置する事もある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・入る際にルールがある場合には、どのようにすると入ることが出来るか、勝手に入ってしまうとどうなるかが掲示されている ・文字やイラスト、写真でロッカーや棚、トイレなどの掲示があり、お子さんが分かりやすいように配慮している トイレの便座以外、玄関、フロアは全てフラットで、ほぼバリアフリーになっている。 手すり等は、歩行に介助が必要なお子さんがいない為、現在は必要ない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・おもちゃなどが散乱していることはなく、清潔な環境になっている ・毎日整理整頓の時間を設けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・大きな音や騒ぎ声が苦手なお子さんには、ドアの開まる個室で学習や支援プログラムを行うこともある。 ・お子さん本人が仕切りのある机を選んだり、個室へ入ることも選択できるようにしている	・ドアで仕切られた空間は相談室（キッチン）とトイレのみ
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・ミーティングの際に振り返りと、次回どうするかの話し合いが行われている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者向けの事業所評価アンケートを毎年実施し、いただいたご意見は職員で共有している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・何か気になる点があったら、すぐに相談できる環境がある ・月末に上長とのミーティングがあり、そこで話すことが出来ている	・当日の支援終了後にも機会があると嬉しい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	・第三者の外部評価は行っていないが、第三者委員会を選定し、必要に応じて評価頂く体制は整っている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・虐待防止、感染症など各種委員会があり、それぞれの研修が実施されている	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・各事業所からの案をまとめて事業所の共有のプログラムを作成し、公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・ニーズ、支援の進捗などを踏まえ、作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・何か計画を立てた時には、事業所全体の職員が共通して理解できるような指示や説明が必ずある	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・個別支援計画が職員に共有されている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・行動観察シートに記載している	・アセスメントツールが標準化はされていないので、今後統一していく

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・適切に設定し、具体的な支援内容となっている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・前日の活動を振り返りながら、本日の活動について管理者主導で職員全体で考えている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・一定期間は成長や課題を測るために同じプログラムを行うが、数週間～1か月ほどで定期的に変えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・学習や個人スキル項目については個別に、コミュニケーションや集団行動で目標もそれぞれ目標立てている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・当日支援前のミーティングで行っている、役割の確認も行っている	・ご利用者の課題改善を行う際は、事前にどのようなことが想定されるかのシミュレーションを行いたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・当日はヒヤリハットや問題行動等を優先的に挙げ、ノートに記入して、他の職員とも共有している	・ミーティング自体は実施できているが、当日ではなく、翌日になっている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・支援記録を基に支援内容の見直し、相談をしている	・その日のうちに全員分の記録が記入し終わる仕組みが整っていない
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・6か月以内にモニタリングを実施、見直しをしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		・複数組み合わせ支援している	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・複数の活動、遊びの中から選択ができるようにしている。言葉での要求が難しいお子さんには、カードや写真などを用意している	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・管理者、児発管が主に行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・障害福祉等の機関とは、講習会や連絡会への参加で情報交換などを行っている。学校とはお迎えの時に相談たり、学習記録をお渡しして支援の内容などを共有している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・下校時刻表を毎月確認している。急なお休みや学校でのトラブルについては保護者を通したり、直接電話などで連絡、確認をしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・同法人内の児童発達支援事業所と共有をしている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		・該当するご利用者がいなかったが、今後必要な状況になった時には、支援内容等の情報提供をする	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			・外部の児童発達支援事業所とは連携が図る機会がなかった。今後、研修等があれば参加する
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・2023年末に学童との交流を実施	・同法人内の他事業所のご利用者との交流はある ・今後、定期的に行う予定
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		・管理者及び児童発達支援管理責任者が参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時や連絡帳アプリで申し送りを行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		・必要に応じて実施している	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・モニタリング時に保護者から本人、保護者の意向を聞いている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・原則、児童発達支援管理責任者が説明し、同意を頂いている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・個別の相談に対応している。家庭内での行動について具体的な方法を提案している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1	・保護者会は実施できていないが、保護者が参加できる講習会やイベントを開催している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・速やかに会社と相談して対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・毎月、各事業所ごとのニュースレター（チラシのようなもの）を発行し、配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・ファイルに閉じて、ご利用者の目につかない扉のある場所にて管理している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・ご利用されているお子さんで発語が難しい方に対して、絵カードを用意し、情報伝達等、行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・会社として行事を開催してご家族やご友人を招待してはいる	・地域の方の招待は防犯上のリスクもあり、実施していない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・毎年3、9月に防災、6月に不審者、12月に地震の訓練がされている ・各マニュアル作成済み、会社内で研修している	・今後は緊急時の連絡訓練などは保護者と一緒に実施をしたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCPに基づいて訓練や備品の用意をしている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・契約時に確認して対応している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・契約時に確認して対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全計画に基づいて研修や訓練を実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・研修や訓練の内容については、実施報告を保護者にメールやHPでお知らせをしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・当日にヒヤリハットを共有し、対策を立てることが出来ている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・委員会が設置されている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・委員会から社員に向けて研修、発信がある。必要な時は保護者に説明、同意を得ている	